

【目的及び活動】

本校高等部では、生活単元学習の時間を中心にSDGsについての学習や実践的な活動を通し、障害のある生徒が社会の様々な課題に関心をもち、持続可能な社会を目指して主体的に取り組む資質・能力の育成に向けて取り組んでいる。

授業実践においては、生徒がSDGsに興味・関心をもちことができるように、身近な相手や場所に関する事柄から取り組みを始め、徐々に社会全体に意識が向いていくように単元構成を工夫した。また、生徒がSDGsの達成に向けて取り組む意義と各目標の内容を理解し、興味・関心をもった目標について自分たちができる活動を友達同士で話し合ったり、調べたりして考え、実践し、それをポスターにまとめて発表することで、生徒が主体的に取り組むことができるようにした。

【期待される効果】

社会の様々な課題に興味・関心及び課題意識をもち、他者と関わり合いながら持続可能な社会の実現に向けて主体的に取り組む資質・能力の育成が期待できる。

岡山大学教育学部附属特別支援学校
教諭 小林 敬和，武田 由紀子，高等部3年生徒一同



教材を作って幼児・児童にプレゼンしよう

【目的及び活動】

本活動では、生徒が身近な相手に喜んでもらうために自分たちができることについて話し合い、地域の幼稚園児や本校の小学部児童のために教材を作ってプレゼントする活動に取り組んだ。取り組む過程で、この取り組みは「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」などの目標に関連していることに気づき、振り返りでは、生徒が自らの取り組みをポスターにまとめ、質の高い教育を提供することや自分たちが住み続ける住みやすいまちづくりのために貢献することの意識を高めることができた。

（主な活動内容）

- ・地域の幼稚園児のためにマット絵本を制作し、プレゼントした。
- ・本校小学部児童にも環境問題に目を向けてもらおうと考え、エコゴミ袋を作ってプレゼントした。
- ・本校小学部児童に、地震が起きた際の避難の仕方を示した紙芝居や防災グッズを作成し、プレゼントした。

【期待される効果】

身近な幼児、児童への教材のプレゼントを通し、貢献することの喜びを感じ、すべての人が受ける教育を充実させることや住み続けられるまちをつくっていくことの大切さを実感することで、今後各々の生徒が周りの人と共に社会に貢献することが期待できる。

岡山大学教育学部附属特別支援学校

教諭 小林 敬和、武田 由紀子、高等部3年生徒一同



環境問題の解決に向けて取り組もう



【目的及び活動】

本活動では、路上にゴミが多く落ちていることや海洋生物が誤ってプラスチック等を食べしまうことを知った生徒が、自分たちが住んでいる地域をより良くするためにできることを考え、ゴミ拾いに取り組んだ。また、拾ったゴミを分類して調べ、陸と海ではゴミの種類や量が異なることに気付くことができた。さらに、これらの活動をポスターにまとめ、校内で発表することで、他の人たちにもより良い地域の実現や生態系の維持のためにゴミを減らすことの大切さを共感してもらうことができた。

（主な活動内容）

- ・ 地域でのゴミ拾いとゴミの分類・調査
- ・ 牛窓海水浴場でのゴミ拾いとゴミの分類・調査

【期待される効果】

自分たちが住み続けられる住みやすいまちの実現や持続可能な海洋資源の保全、陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進に対する意識を高め、社会の中で周りの人と共に主体的に取り組むことが期待できる。



岡山大学教育学部附属特別支援学校
 教諭 小林 敬和, 武田 由紀子, 高等部3年生徒一同

体育館の扉を修理しよう



【目的及び活動】

本活動では、SDGsの達成に向けて自分たちができる活動を考え、体育館の扉が劣化していることに気づき、修繕活動に取り組んだ。修繕方法を考える際には、様々な人に尋ねたり、関わり合ったりしながら考えることができた。また、必要な道具を自分たちで買いに行き、生徒同士で役割を分担して主体的に取り組むことができた。生徒からは、「今後も使い続けられる体育館になって良かった」という意見が聞かれ、自分たちが普段使っているものを大切に扱うことや再利用することが持続可能な社会につながることに気付くことができた。

（主な活動内容）

- ・ 体育館の扉の修繕

【期待される効果】

自分たちが普段から使っているものを大切に扱うことや再利用して使うこと、廃棄物の発生を削減することなどに対する意識の高まりと周りの人と共に主体的に実践することが期待できる。

岡山大学教育学部附属特別支援学校
教諭 小林 敬和, 武田 由紀子, 高等部 3年 生徒一同

